

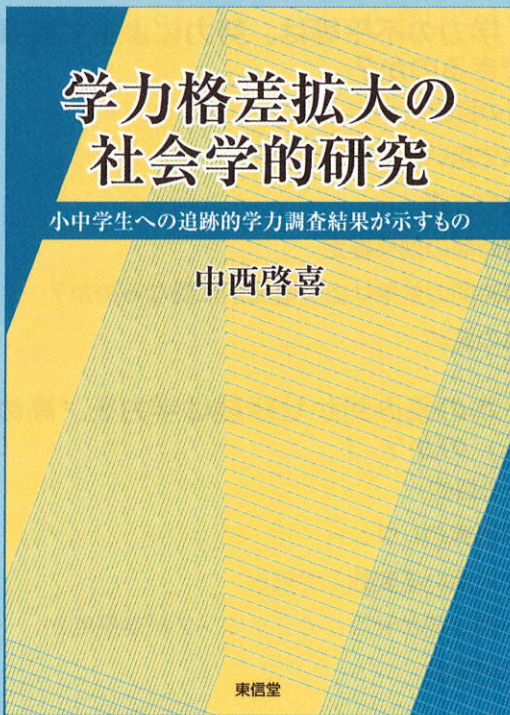
中西啓喜

学力格差拡大の 社会学的研究

小中学生への追跡的学力調査結果が示すもの

小学4年生から拡大する
学力格差にどう立ち向かうか

八年に渡る継続的調査をもとにした統計的分析により、これまで研究されてこなかった学力格差の小四
次頃からの通時的拡大のメカニズムを実証的に解き
明かし、就学前教育から低学年教育への重要性を指
摘した、現代日本の最先端課題の核心に迫る労作で
ある。



学力格差拡大の
社会学的研究

小中学生への追跡的学力調査結果が示すもの

中西啓喜

東信堂

A5判・上製・176頁・本体 2400円
ISBN978-4-7989-1438-1 C3037

なかにしひろき：青山学院大学大学院教育人間科学研究科博士後期課程教育学専攻。現在、早稲田大学人間科学学術院 助教。
【主な著作物】：中西啓喜（2014）「高校生の希望進路の変容」、樋田大二郎ほか編著『現代高校生の学習と進路』、学事出版。
中西啓喜（2017）「学力の獲得は平等なのか？」、片山悠樹・内田良・古田和久・牧野智和編『半径5メートル
からの教育社会学』大月書店。

特別割引注文書（東信堂直接注文のみ特価、公費購入可能）

学力格差拡大の社会学的研究 税込定価 2592円→税込特価 2000円 冊

※この注文書で直接東信堂宛（FAX：03-3818-5514 メール：tk203444@fsinet.or.jp）ご注文いただいた場合は、特別割引価格にてお送りいたします（送料1冊400円。ただし、合計3冊以上御注文の場合は送料小社負担。海外に送る場合は実費を負担いただきます）。お支払いは書籍到着後同封請求書にてお願いいたします。また全国どこでも注文可能です（その場合は定価販売となります）。メール（tk203444@fsinet.or.jp）でご注文頂く場合は、「チラシを見た」と書き添えていただくだけで結構です。

申込者氏名 _____ 請求先：ご本人・その他（ _____ ）

ご住所（送付先） 〒 _____ 電話番号（ _____ ）

株式会社 東信堂 〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
TEL 03(3818)5521 FAX03(3818)5514

目次：学力格差拡大の社会的研究

序章 日本の学力研究における問題の所在

- 1 日本の学力研究の変遷
- 2 期待される政策的インプリケーション
- 3 本書の構成

第I部 これまでの研究の概要とデータの紹介

第1章 学力研究の動向

- 1 研究の視点
- 2 教育における不平等生成に関する先行研究のレビュー
- 3 教育における不平等克服の試みに関する先行研究のレビュー
- 4 何が明らかにされており、何が明らかにされていないのか

第2章 データの概要

- 1 「青少年期から成人期への移行についての追跡的研究」(Japan Education Longitudinal Study: JELS) の特徴
- 2 日本の学力パネル調査の現状と本書の位置づけ
- 3 本書の分析データの概要
- 4 想定される脱落の傾向
- 5 脱落サンプルについての先行研究レビュー
- 6 脱落サンプルの分析

第II部 教育達成の不平等はどのように生まれ、変化するのか？

第3章 学力の不平等はいつ発生し、どのように変化するのか

- 1 本章の目的
- 2 算数数学通過率の分布の確認
- 3 社会階層別に見た算数数学通過率の分布
- 4 算数数学の通過率はどのように変化するのか
- 5 成長曲線モデルによる分析
- 6 知見の要約

第4章 教育達成の性差のメカニズムを探る

- 1 本章の目的
- 2 先行研究のレビューと本章の位置づけ
- 3 本章で用いる変数と手続き
- 4 算数数学通過率の男女間格差
- 5 国語および算数数学選好度の変化の記述的分析
- 6 成長曲線モデルによる算数数学選好度の分析
- 7 まとめ：教育達成の性差のメカニズム

第III部 教育における不平等はいかにして克服が可能なのか？

第5章 学力の不平等は、努力によって克服できるのか？

- 1 本章の目的
- 2 本章で用いる変数と手続き
- 3 分析の方法
- 4 学習時間の効果推定
- 5 学習時間の効果は出身階層別に異なるのか？
- 6 知見の要約

第6章 本の読み聞かせ経験は学力を「高める」のか？ I

- 1 本章の目的
- 2 先行研究のレビュー
- 3 本章で用いる変数と手続き
- 4 本の読み聞かせはどのタイミングが効果的か
- 5 知見の要約

第7章 本の読み聞かせ経験は学力を「高める」のか？ II

- 1 本章の目的
- 2 分析戦略：傾向スコアマッチング
- 3 データ方法変数と手続き
- 4 分析
- 5 知見の要約

第8章 学校教育は学力格差を是正するか？

- 1 本章の目的
- 2 分析1：クラスサイズによる学力の水準差の検証
- 3 分析2：クラスサイズによる学力推移の検証
- 4 まとめ

終章 教育における不平等をどのように是正していくか

- 1 知見の要約
- 2 知見から得られる政策的インプリケーション
- 3 残された課題

引用参考文献／あとがき／索引